

名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2023 年 8 月 27 日

学部・学科名 世界教養学科

担当教員氏名 ヴァミューレン服部美香

1. 区分	語学研修
2. プログラム名称	夏期海外研修
3. 渡航先国名	オーストラリア
4. 派遣期間	2022 年 7 月 30 日 (土) ~ 2022 年 8 月 28 日 (日) 30 日間
5. 派遣先教育機関名	グリフィス大学
6. 参加学生数	18 名
7. 派遣目的	授業で英語を学ぶとともに、ホームステイプログラムなどで多文化に触れる。英語文化圏で生活をする。
8. 派遣内容	オーストラリアへの渡航が可能となった国・地域の学生とともに、習熟度別編成クラス(GELI)で英語の4技能を伸ばし、学部の教授(Dr. Morgan)による特別講義(The Sustainable Development Goals and Saving Our Environment)を受講する。さらに、グリフィス大学の学生と交流するセッションも用意されている。現地の小学校(Lutheran Ormeau River District School)を訪れ、日本文化紹介もする。
9. 成果	研修中は多様な文化背景を持つ家庭にホームステイをし、プログラムに取り組んだ。 語学学習の絶好の機会となったことはもちろん、様々な経験を通して、視野を広がるきっかけになったようである。 今後の学習・学生生活を有意義なものにする内容に溢れた研修となったことは帰国後のアンケート・レポートにもあ

	らわれている。
10. 備考	コロナ禍で制限が多い中、できる限り現地の人々との交流の機会を設けた。

以上

2022 年度夏期オーストラリア研修を振り返って

私は夏期オーストラリア研修に参加して、語学面ではスピーキングの重要性を、生活面ではオーストラリア特有の文化背景や価値観を学びました。

オーストラリア研修の最中、私はちょうど、就職活動をしている時期で、将来の進路に悩んでいました。

そんな時に、オーストラリアで、多くの人の「仕事も大切にしながら、ただそれ以上に自分自身に使う時間(趣味等)や友人、家族と過ごす時間をとても大切にしている」生き方を目の当たりにし、どんな時でも「純粋に自分が幸せな生き方をする」ことが大切であると気づきました。

そこから、クラスメイトたちやホストファミリーと話しアドバイスをもらい、「なぜこの仕事をしたいのか」「これからどうやって生きていきたいのか」を考え直すことで、日本に住んでいたなら得られなかった答えを自分の力で導き出すことができました。

第一に英語を使いたい！話したい！と思って参加した研修は、英語力向上へのモチベーションがあがっただけでなく、自分自身とたくさん向き合い、新たな価値観や発見もあり、「自分がやりたいことは何か」を深く考えるきっかけとなりました。

オーストラリアに行っている間、「今がとても貴重でかけがえのない時間だな」と実感できるほど、今までになかった体験や経験が出来ました。オーストラリアで学んだことは、将来の自分の成長につながれると思います。